

岡山理科大学図書館報

りとにゅーす

図書館の情報を
携帯でチェック!!



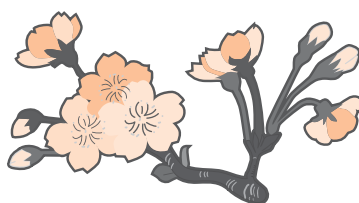
No.59 2009.4.1

新 入 生 歓 迎 号

● Contents ●

- ☆大学に入ったら図書館へ行こう! p.1
- ☆放っておく手はない、
思いっきり図書館を利用しよう! p.2
- ☆先輩からのメッセージ p.3
- ☆学科推薦本コーナー p.4~9
- ☆図書館では、こんな本がよく借りられています。..... p.9
- ☆“図書館オリエンテーション2009” について p.10~11
- ☆ベストリーダー賞について p.12

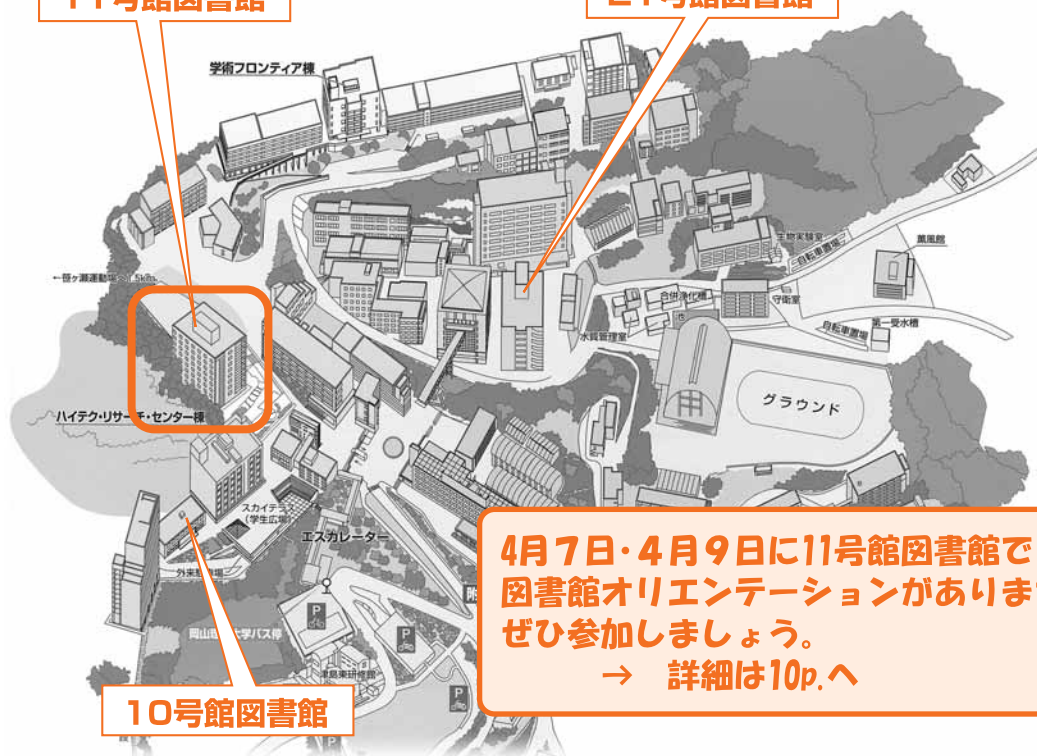
編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>



大学に入ったら図書館へ行こう!

11号館図書館

21号館図書館



10号館図書館

4月7日・4月9日に11号館図書館で
図書館オリエンテーションがあります。
ぜひ参加しましょう。

→ 詳細は10p.へ

放っておく手はない、 思いっきり図書館を利用しよう！

岡山理科大学 副学長／金 枝 敏 明



入学おめでとうございます。図書館は、大学新1年生にとり、最も大学生になった気分になれる所ではないでしょうか？これから4年間何らかの形で図書館にお世話になるかと思います。それではどんな時に図書館をよく利用するのか、と言いますとやはりレポート作成、卒業研究の資料調べということになるかと思います。大学の図書館は高校のそれとは比べものにならないくらい沢山の本があり、中には学術分野で最先端の高価な書籍が転がっております。また視聴覚教育材料であるDVDやビデオも収蔵されており、単に収蔵品は書籍だけではありません。

本学ではこのような立派な書籍を多数蔵書しておりますので、それらは学生や教職員のみに対象としているのでは、勿体ないということで一般の方にも解放し、貸し出しを行っております。また日曜日も開館しております。

米国の大学では、多くの学生は図書館で夜遅くまで勉強します、開館も深夜までや夜通しもあるようです。米国映画で大学を舞台とするものには必ずと言っていいほど、図書館の内部がスクリーンに映し出されます。米国の大学生にとり、生活に占める図書館の役割が大きいのがこのようなことから推察できます。日本ではこのような図書館で勉強する慣習は、閉館時間の関係で余りないようですが、本学では可能です。上記のように日曜日開館や閉館時間を21時近くまでとしております。従って本学学生にとって、このような貴重な財産を放っておく手はない、ということになります。

また疲れた時には、キャンパスに出て、コンビニでジュースや自販機でお茶を飲んで一服することも可能です。

今まで私の研究室から育って行った学生は、300人以上を数えると思いますが、彼らを見てみると、図書館を有効に利用している学生はそれに比例するがごとく成績がよく、充実した学生生活を送りました。

新しい専門の知識を得ることが出来るのは、講義での場合が多いのは当たり前ですが、自分自身で発見した場合、好奇心が満たされ、気分良く容易に頭に入るような気がするのは私だけではないと思います。大学に入学したからには、思いっきり図書館を利用して、知識を深め、素晴らしい発見をしましょう。



先輩からのメッセージ！

理学部応用数学科 4 年／紙 本 裕 一



私は、ほぼ毎日といって良いほど図書館へ通い、図書館を利用しています。私が図書館の利用を薦める理由は、以下に挙げる図書館の良いところがあるからです。

大きくまとめて3つあります。

まずは、図書・雑誌・新聞の種類の豊富さです。和洋を含めて、図書は約37万冊、新聞は約20種類、雑誌では様々な分野を網羅しており、約4000種類あります。新聞や雑誌は各分野の時事を掴むという点で大きな効果を発揮してくれます。また図書では理工系・情報系の本が豊富であり腕力の限界まで借りることが出来ます。それに加え、図書では図書館にないものでも所定の条件を満たせば個人で月に3冊まで、和洋を問わずリクエストが来て、更に大学の先生方が所持されている図書を読みたい場合でも、カウンターに申請すれば借りることが出来ます。

次に、初心者にも配慮しているという点が挙げられます。図書館では小冊子を事前に配布しており、図書、雑誌などの検索方法、所在位置などの疑問点も解りやすく書かれています。更には、小冊子をより噛み砕いてより解りやすくはっきり書かれているプリントも置いてあるので誰でも気軽に利用することが出来るのです。

最後に挙げたいのは開館時間の長さです。講義で帰るのが遅くなった日でも、図書館は夜遅くまで開いているので、その日のうちに復習、予習、レポートなどを仕上げることも出来ます。そして必要な資料はその場でコピーすることも、貸し出しも可能なので大変便利なのです。

しかしその一方で、本への線引き、館内で騒ぐ、音楽を聴いているといった、私達利用者のマナーの悪さもまた、ひどく目立っています。皆が気持ちよく図書館を利用するためにも、一人一人が周りの事を考えた上で、最低限のマナーを守って図書館を利用して欲しいと強く思っています。

図書館を利用することで、様々な事を発見して、更には自身の飛躍に繋がるきっかけを作ることが出来ます。実際私は図書館に通い続け、在学中に成し遂げたい大きな目標のうちの1つである「工業英検2級合格」を達成することが出来ました。

新入生みなさん、是非図書館へ通ってみてください。通っているとそのうちきっと良いことがありますよ。

紙本君は工業英検2級合格の荣誉により学長表彰されました。

※図書館は夜も開いているよ

詳細については図書館カレンダーやホームページでご確認ください。

各図書館の主な開館時間		平 日	土 日	備 考
11号館図書館	通常期	9:00～20:45	9:30～16:45	4月の日曜日は 閉 館
	休業期	9:00～17:00	閉 館	
21号館図書館	通常期	9:30～20:45	閉 館	
	休業期	9:30～16:45	閉 館	
10号館図書館	通常期	9:30～16:45	閉 館	
	休業期	閉 館	閉 館	

学科推薦本コーナー

理学部、工学部、総合情報学部各学科の先生が、新入生の皆さんに読んでほしい本をご紹介します。これからの大学生活の中で、学ぶ分野は学科によって異なってきますが、自分が在籍している学科のみならず他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

理学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④所在 ⑤推薦コメント ⑥推薦者

応用数学科

①ピタゴラスの定理：4000年の歴史

②E・マオール 著；伊理由美 訳 ③岩波書店 ④11号館一般

⑤ピタゴラスの定理（三平方の定理）は良くご存知のことと思います。この本では、その歴史・関連する数学の話題・種々の（371個の）証明法について18の章に分け、終章のピタゴラスが生まれたサマス島への著者の訪問記まで大変読みやすく書かれています。 ⑥酒井隆先生

①ダイヤモンドはなぜ美しい？：離散調和解析入門

②砂田利一 著 ③シュプリンガー・ジャパン ④11号館一般

⑤規則正しい面に囲まれた結晶の中でも、ダイヤモンドはとりわけ美しい形を持っています。本書はその「美・調和」を数学者の立場から追求し、周期性・対称性・最小原理の三つの観点から述べています。数学がどのような発想に基づいているかを知るうえで大変優れた書物です。 ⑥酒井隆先生

化学科

①化学者たちの感動の瞬間：興奮に満ちた51の発見物語

②有機合成化学協会 編 ③化学同人 ④11号館一般

⑤有機合成関連の研究分野で優れた業績をあげてきた先生方が、研究を通して得た「感動や喜び」を語った短編物語集です。岡山理科大学の先生も寄稿されており、優しい内容で非常に読みやすい一冊となっています。 ⑥岩永哲夫先生

①透明金属が拓く驚異の世界：不可能に挑むナノテクノロジーの錬金術（サイエンス・アイ新書）

②細野秀雄，神谷利夫 著 ③ソフトバンククリエイティブ ④11号館一般

⑤透明金属と聞いてすぐどのようなものか分かる人は科学の造詣が深い。著者たちのグループはその研究で次々に常識を打ち破る成果をあげており、つい最近も鉄を主成分とする高温超伝導体を発見して、世間で騒がれています。最先端の研究を分かりやすい言葉で書いた本です。 ⑥森重國光先生

応用物理学科

①「地球温暖化」論に騙されるな！

②丸山茂徳 著 ③講談社 ④11号館一般

⑤今日、「人類の化石燃料の使用によって大気中の二酸化炭素が増加し、この温室効果ガスのために地球の気温が上昇している」ことは、周知の疑いようのない事実となった感がある。ところが、著者は、この「常識」を「科学」を用いて真っ向から否定してみせるのである。 ⑥豊田新先生

①化学ぎらいをなくす本：化学再入門 新装版（ブルーバックス B-1534）

②米山正信 著 ③講談社 ④11号館ブルーバックス

⑤この本は、化学の内容のうち、まず最初に習う「原子の構造」、「化学反応」、「モルの概念」等について分かりやすい文章で解説しています。部分的には漫画も入っており、よく分かるための工夫が随所に見られます。化学に興味のある人、化学を習わなかった人などには必読の書です。 ⑥野瀬重人先生

①若き数学者への手紙

②イアン・スチュアート著；富永星訳 ③日経BP社 ④11号館一般

⑤本書は、サイエンス読み物の書き手として著名なI.スチュアートが、数学を志すメグ（姪？）宛てに数学者としての告白や助言を書簡の形で綴るという想定で書かれています。彼女が教員になるまでの間に書かれた21通の書簡の中で、数学とは何なのか、何の役に立つのか、どのように学べばよいのか、数学的な精神はどのように働くのかといった問題が、平易なことばで語られています。 ⑥長瀬裕先生

①石油の生産量はピークにきたのか？：ピークオイルの本質と21世紀のエネルギー

②根岸敏雄 著 ③石油文化社 ④11号館一般

⑤総石油量の半量消費の年は2011との問題の入門書である。富士山を酒盃とすると、3分の1ぐらいが残量であるとの計算はショックで、評者も思わず人類の行く末を案じました。本書を横に置き、電卓片手に、鉛筆を握りしめて一度は自ら確かめてみることをお勧めします。 ⑥山崎重雄先生

①やさしいバイオテクノロジー：血液型や遺伝子組換え食品の真実を知る（サイエンス・アイ新書）

②芦田嘉之 著 ③ソフトバンククリエイティブ ④11号館一般

⑤バイオテクノロジーのことだけでなく、その基礎となる遺伝子についてもわかりやすく説明されてあるので、とても読みやすいと思います。また、「コラム」では最近のトピックスにも触れてあり、この本を読むと遺伝子組換え（食品）に対する考え方が変わるかもしれません。 ⑥宮永政光先生

①バイオ研究のフロンティア 1 環境とバイオ

②田中信夫 編 ③工学図書 ④11号館一般

⑤生命理工学の入門書として書かれているため、生物化学の基本はきちんと押さえてあります。タイトルに「環境」が入っているように、人間・細胞・化合物の環境について興味深く書かれています。

⑥宮永政光先生

①「空気」の研究（文春文庫）

②山本七平 著 ③文芸春秋 ④10号館文庫

⑤日本人と日本社会に見出される、日本人的なものを鋭く追求した研究書。今後、国際化して行かなければならない宿命にある我が国の将来を担う若者に、是非読んでいただきたい。 ⑥由谷親夫先生

①悩む力（集英社新書）

②姜尚中 著 ③集英社 ④21号館一般

⑤現在、私たちを取り巻く環境はさきわめて自由な社会です。本文中にあります。「何をするのも、何を信じるも自由」というのはつらいものです。確信を得るまで悩むしかない。ある種の答えがこの本には示唆されています。見つけてみよう。 ⑥由谷親夫先生

①フェルマーの最終定理（新潮文庫）

②サイモン・シン 著；青木薫 訳 ③新潮社 ④11号館一般

⑤20世紀末にやっと真偽が確定し、定理となった。17世紀の天才アマチュアが残した史上まれにみる難攻不落の予想。本書を読めば、数学とはほど遠い分野の素人でも、この最終定理とは何か、少しは分かり、その命題の大きさが想像できる。好著和訳が、文庫版で寝転んでも読めるとは。 ⑥高崎浩幸先生

①王様気どりのハエ（科学選書）

②ロバート・S.デソヴィツ 著；記野秀人、記野順 訳 ③紀伊國屋書店 ④11号館一般

⑤30年以上も、WHOの専門家として世界各地の公衆衛生に携わってきたデソヴィツ博士の科学エッセイ。「アスワンダムが出来て何が起こったか」や「高級避暑地に突如現れた寄生虫」など、奇想天外な展開が読者を魅了するだけでなく、現代社会に対する貴重な示唆にも富んでいる。 ⑥小林秀司先生

工学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④所在 ⑤推薦コメント ⑥推薦者

バイオ・応用化学科

①偽善エコロジー：「環境生活」が地球を破壊する（幻冬舎新書）

②武田邦彦 著 ③幻冬舎 ④11号館一般

⑤内容的には賛否両論であろうが、科学者の視点からエコロジーを評価した点は興味深い。少なくとも科学（特に化学）を学ぶ者としてマスコミからの情報に対して「右へならえ」とならない姿勢は持ちたいものである。

⑥折田明浩先生

①プロ棋士の思考術：大局観と判断力（PHP新書）

②依田紀基 著 ③PHP研究所 ④21号館一般

⑤この本を読んでも囲碁は強くならない。ただ、強くなるための姿勢を学ぶことができる。そして、ハッと気付く。勉強も仕事も趣味も人生も囲碁と同じなんだな、と。 ⑥折田明浩先生

機械システム工学科

①ビッグバン宇宙論（上・下）

②サイモン・シン 著；青木薫 訳 ③新潮社 ④11号館一般

⑤宇宙の創造と進化の謎解きに関わった有名無名の天才達のドラマです。もちろん女性も登場します。アイデアの突飛さと素晴らしさ、強靱に思考する力、セレンディピティー、怨念とも言えるような執念ありで、人間の喜劇でもあり悲劇でもあるでしょう。面白いのでお勧めします。 ⑥吉田浩治先生

①ゲノムが語る23の物語

②マット・リドレー 著；中村桂子，斉藤隆央 訳 ③紀伊國屋書店 ④11号館一般

⑤遺伝子に纏わる幅広いテーマの23の物語です。「すべて死に行くものは、他のものを補充する。物質の海に生まれる泡沫のように、作られ、壊れて、その海に帰るのだ。」本文中に引用されるポープの言葉です。“物質の濃度が高い所が人間”とは何？、考えを巡らすのも一興。 ⑥吉田浩治先生

電気電子システム工学科

①自動車用モータ技術

②堀洋一，寺谷達夫，正木良三編 ③日刊工業新聞社 ④11号館一般

⑤ハイブリッドカーなど電気自動車の駆動機構としてモータはもちろんのこと、普通の自動車にもさまざまなモータが使用されています。自動車を単に運転するだけでなく、どのような形でモータが使われているか、どのように動いているか考えてみたい知りたい人にお勧めします。 ⑥笠展幸先生

①トコトンやさしい超伝導の本

②下山淳一 著 ③日刊工業新聞社 ④11号館一般

⑤超伝導体の性質や応用についてやさしく説明されています。 ⑥河村実生先生

①**コンピュータはなぜ動くのか：知っておきたいハードウェア&ソフトウェアの基礎知識**

②矢沢久雄 著 ③日経BP社 ④11号館一般

⑤ウェブページを見たり、メール等を使うだけなら、コンピュータの動作の仕組みなんて知らなくても大丈夫。しかし、将来、ソフトウェアやシステムの設計・開発に携わる情報技術者には、必須の基礎知識。その他、同シリーズ本の「プログラムはなぜ動くのか」もお薦めです。 ⑥片山謙吾先生

①**アップルを創った怪物：もうひとりの創業者、ウォズニアック自伝**

②スティーブ・ウォズニアック 著；井口耕二 訳 ③ダイヤモンド社 ④21号館一般

⑤iPodやiPhoneなどで知られるアップル社の創業者、ウォズニアックの自伝です。子供時代の逸話から、アップル社の創業の秘話や、初期のコンピュータをどう風につくったかなどが紹介されており興味深い、巻末には用語集があり、コンピュータの歴史や知識も身につけ一石二鳥です。 ⑥麻谷淳先生

①**生体電気信号とはなにか：神経とシナプスの科学（ブルーバックス B-1523）**

②杉晴夫 著 ③講談社 ④11号館ブルーバックス

⑤生体電気の原理を紹介した本です。多くの種類の情報が、それぞれの速さで伝わっていく様は生体内の情報処理の基本です。計算機に比べ信号伝達速度は非常に遅いわけですが、誠にうまく処理されています。

⑥山本敏泰先生

①**つかぬことをうかがいますが…：科学者も思わず苦笑した102の質問（ハヤカワ文庫）**

②ニュー・サイエンティスト編集部 編；金子浩 訳 ③早川書房 ④11号館一般

⑤あんなたちっ！せっかく理科大に来ているんだから、せめてこれくらいの本は買って読んでおきなさいっ！ネタがかなりあるけど、この4年間でネタぐらい自分で見分けられるようになっておきなさいっ！レジ持って行くのが恥ずかしいとか言っていないで、ジャケ買いくらいしなさいよっ！ ⑥荒木圭典先生

①**奇跡のリンゴ：「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の記録**

②石川拓治 著 ③幻冬舎 ④21号館一般

⑤リンゴは最も農薬を必要とする作物で、年に十数回農薬散布する。もし散布しなければリンゴは枯れてしまう。10数年の歳月の失敗の末に、1人でリンゴの無農薬栽培を成功させたノンフィクションである。観察したメモはリンゴ箱2箱分になった。絶対不可能を覆した壮絶な話であるけれども爽やかでとても感動する1冊。 ⑥八田貴先生

①**科学史年表（中公新書）**

②小山慶太 著 ③中央公論新社 ④21号館文庫

⑤17世紀から20世紀後半までの約400年間の重要な科学的発見、発明、出来事を、年代順に各項目を約1頁以内に非常にわかりやすく説明している。年代順に読んでいくのも良いし、適当に頁を繰ってみるのも良い科学史ハンドブックである。自然の原理、仕組みを明らかにしようとした科学者たちの発想、工夫、試み、失敗などが読み取れる好著である。 ⑥林紘三郎先生

総合情報学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④所在 ⑤推薦コメント ⑥推薦者

情報科学科

①ウェブ進化論：本当の大変化はこれから始まる（ちくま新書）

②梅田望夫 著 ③筑摩書房 ④11号館一般

⑤現在のウェブが革新的に変わりつつあり、その中心にGoogleの技術革新や運営方針が表れているという、その結果が社会にもたらす影響がどのようなものかを、現在の変化も伝えながら解説する、ウェブに関心がある人には必読の書物です。 ⑥北川文夫先生

①プログラマの数学

②結城浩 著 ③ソフトバンクパブリッシング ④11号館一般

⑤プログラマに必要な「数学的な考え方」を手に入れるための本です。数学的な考え方を身につけるといことはプログラミングでも大きな武器となります。簡単な数学を例に挙げてそれに対する考え方を解説してあります。その他に数学的なクイズやパズルなども入っていますので、気軽に読んでもらえる本だと思います。 ⑥柳貴久男先生

コンピュータ・シミュレーション学科

①蜜蜂の生活 改訂版

②M.メーテルリンク 著；山下知夫、橋本綱 訳 ③工作舎 ④11号館一般

⑤メーテルリンクといえば、子供の頃に児童向けの本で読んだ「青い鳥」があまりにも有名である。ここではノーベル文学賞の対象作品となった社会生活を営む昆虫の三部作の一つを紹介する。社会生活をしている昆虫世界の支配者は女王なのか、労働を担うものなのか、それとも・・・一体誰なのか。その問題意識を持って本書を読み進めていけば、興味は何倍にも増すだろう。以下に推薦する「花の知恵」とともに、自然観察の深さに驚かされるばかりでなく、科学エッセイとしても感動させられる。 ⑥藤井勝彦先生

①花の知恵

②モーリス・メーテルリンク著；高尾歩訳 ③工作舎 ④11号館一般

⑤“花の知性のエネルギーの振舞い方”というのが本書のテーマである。ヘリコプターの片羽のような形を持って落下運動をするもじりの種子、風に吹かれて落下傘飛行をするタンポポの綿毛などは、子供の頃からよく見てきたし遊んだりしたものであるが、いずれも親からできるだけ離れようとするためらしい。水草が自らの花茎を切って受粉する場面や、昆虫を誘って受粉する蘭の数段階もの仕掛けは何十万年かけての試行錯誤であろうかと感激させられる。 ⑥藤井勝彦先生

生物地球システム学科

①ソロモンの指環：動物行動学入門

②コンラート・ローレンツ 著；日高敏隆 訳 ③早川書房 ④11号館一般

⑤生物は遺伝子を残すための器であるという考えが研究の主流となった時代になっても、動物行動学を代表する古典的な名著の一つ。生き物に対する深い愛情とその行動に対する興味や知的好奇心、そして正確な観察。遺伝子も数式も出てこないが生物学、自然科学の基本がある。 ⑥中村圭司先生

①地球温暖化論のウソとワナ：史上最悪の科学スキャンダル

②伊藤公紀、渡辺正 著 ③KKベストセラーズ ④11号館一般

⑤怪しげなタイトルの本だが、内容は科学的であり、「地球温暖化」の本質をえぐり出している。地球温暖化と人間が排出するCO₂との関係、異常気象と温暖化の関係など、読んでみれば目からウロコが落ちる気がする。「気候変動」としての温暖化問題を正しく捉えるための必読書である。 ⑥鳥居雅之先生

①「吉備の中山」と古代吉備

②薬師寺慎一 著 ③吉備人出版 ④21号館一般

⑤「吉備の中山」とは、吉備津神社がある山ですが、そればかりではなく、昔からの聖なる山として、さまざまな遺跡が点在しています。それだけに、謎の多い所でもあります。岡山に住むものとして、岡山の原点ともいえるこの山のナゾに、みなさんも挑戦してみませんか。 ⑥志野敏夫先生

①フラクタル社会の経済学

②中込正樹 著 ③創文社 ④21号館一般

⑤2008年秋に突発した、アメリカ発の世界経済危機に対し、「規制緩和」一本やりの経済学は無力さを露呈した。本書は、効用と利潤の最大化をめざす功利主義的人間像にもとづく新古典派理論の根底的な反省のもと、限定された情報処理能力しかもたないのに単なる「マシン」を超える生きた現実的人間を前提に、新しい経済理論の創造を目指す画期的業績である。 ⑥泉俊弘先生

①天ぷらにソースをかけますか? : ニッポン食文化の境界線 (新潮文庫)

②野瀬泰申 著 ③新潮社 ④10号館文庫

⑤日経新聞社がネットを通じて「食の方言」を調査した結果を紹介。「肉」が豚を指すか牛を指すか、冷やし中華とマヨネーズの関係などに加えて筆者が東海道を歩いて、食の境界線を調査した旅行記が新鮮。意外な食の違いを知ることで文化を見る目が変わる。 ⑥後藤義明先生

①ポローニャ紀行

②井上ひさし 著 ③文藝春秋 ④10号館一般

⑤イタリアのポローニャに関する小さなエッセイ集。行政改革、地方分権、中小企業再生、教育、介護等々を「ポローニャ式」と称される独特の住民参加方式で解決される様子が生き生きと述べられている。建物保存や街造り等こんな方法もありかと目から鱗。 ⑥西岡利晃先生

図書館では、こんな本がよく借りられています。

昨年、2008年1月～12月までの期間で、図書館で借りられたものから、貸出回数が多い資料をご紹介します。なお、貸出回数が多い100冊について、11号館2階OPAC端末横の掲示板に掲示していますので、そちらもご覧ください。

1位34回「わかりやすい生化学：疾病と代謝・栄養の理解のために」第4版

篠原力雄, 饒村護編 ヌーヴェルヒロカワ 11号館一般 491.4/Sh

2位33回「ブラウン・プーン基本有機化学」第3版 11号館一般 437/Br

3位31回「21世紀の大学基礎化学実験：指針とノート」改訂版 11号館一般 432/Da

4位30回「生化学辞典」第3版 11号館一般 464.033/Se

5位29回「Essential細胞生物学」原著第2版 11号館一般 463/Es

6位28回「エミール」上 (岩波文庫) 10号館文庫 135.48/Ro/1

6位28回「大学の基礎化学実験：指針とノート」11号館一般 432/Da

6位28回「生化学辞典」第4版 11号館一般 464.033/Se

6位28回「標準生理学」第6版 (Standard textbook) 11号館一般 491.3/Hy

6位28回「生理機能検査学」第2版 (臨床検査学講座) 11号館一般 492.1/Se

“図書館オリエンテーション2009”について

みなさんに理大の図書館について知ってもらうために、図書館オリエンテーションを行います。

新入生の方は、右下の申込用紙にご記入の上、4月5日の学科別オリエンテーション当日、会場に準備する回収箱に入れてください。あるいは、各図書館カウンター付近の回収箱に入れるか、カウンターの職員に渡してくださっても結構です。

2009年度は、学科ごとに行い、4月7日、4月9日の健康診断と同じ日に行います。詳しくは、右のスケジュール表で確認し、指定されている各学科の時間帯の図書館オリエンテーションに参加してください。都合が悪い場合は、他の学科の時間帯に参加してもらってもかまいません。

開始時間の10分前までに11号館図書館1階玄関ホール付近に集合してください。

(参加人数によっては、内容の一部のみ実施となる場合があります。)

都合があって4月7日、4月9日に参加できなかった方は、4月10日に参加してください。

内 容：① 図書館各施設の紹介（パワーポイントでの説明）

② 11号館図書館の館内ツアー

③ OLION（PC）端末による図書館資料検索実習

（またはパワーポイントによる説明）

“図書館オリエンテーション2008” から

新入生のみなさんに理大の図書館について知ってもらい、図書館を上手に利用して頂くことを目的として、“図書館オリエンテーション2008”を昨年4月7日（月）から11日（金）までの6日間実施しました。他の行事の合間や休み時間を利用して、716名の新入生が参加しました。

Q 参加してどうでしたか？

「図書館ってすごいと思った！！ぜったい使います。」

「今後利用することが絶対あるのでこのようなオリエンテーションに参加できてよかった。非常にわかりやすかった」

「高校とは比べものにならない程の冊数や内容に驚いた。たくさんの場面で有効的に利用したいと思った。」

「色々と説明を聞いて分かりやすく教えていただいたのでこれから先、役立てていこうと思った。」

「良かった。様々な方法により、分かりやすく説明してくれた。」

「これからの大学生活でとても利用できることが分かって良かった。」

「実際に本の借り方や探し方をおしえてくれたのが、とても分かりやすくてよかった。」

「高校のときとのちがいがよく分かった。これからどんどん活用していきたい。」

「『さすが大学の図書館』って感じて大きさに圧倒された。」

「この大学の図書館はとても広くて大きいと実感しました。」

「図書館の利用の仕方がよくわかり、今後しっかり利用したいと思いました。」

「高校と違いかなり複雑なシステムだったので、参加してよかった。」

「図書館を目的によって使い分けなければならないことが分かり、今後、論文やレポートを書くことで役立てていこうと思いました。」



各学科の開催日時は以下をご確認ください。

対象学科	No	月日（曜）	時間帯
基礎理学科	1	4月 7日（火）	9:10～10:10
応用数学科	2		10:00～11:00
化学科	3		10:50～11:50
応用物理学科	4		11:40～12:40
生物化学科	5		13:00～14:00
臨床生命科学科	6		13:50～14:50
動物学科	7		14:40～15:40
全学科	8		15:30～16:30
建築学科	9	4月 9日（木）	9:10～10:10
情報科学科	10		10:00～11:00
生物地球システム学科	11		10:50～11:50
社会情報学科	12		11:40～12:40
知能機械工学科、生体医工学科	13		13:00～14:00
バイオ・応用化学科、工学プロジェクトコース	14		13:50～14:50
機械システム工学科、電気電子システム学科	15		14:40～15:40
情報工学科	16		15:30～16:30
全学科	17	4月10日（金）	13:15～14:15
全学科	18		14:15～15:15
全学科	19		15:15～16:15

本人控 No. 【 】 4月 【 】日 【 】：【 】～

集合場所は、11号館図書館1階玄関ホール付近です。（11号館の場所は1頁目をご覧ください。）

きりとり

図書館オリエンテーション2009 参加申込用紙

学部

学科

申込者氏名

参加希望日時

No. 【 】 4月 【 】日 【 】：【 】～

ベストリーダー賞について

岡山理科大学図書館では、常々、勉強熱心な学生を表彰したいと考えていました。
そこで、**ベストリーダー賞**を制定しています。

賞 の 概 要

4年生は、3年前～今年12月まで、新入生は入学した年次の4月～12月までで、
各分野貸出数の上位1位～3位までの18名の方が表彰されます。副賞もあります。
お楽しみに♪

■対象者／**ベストリーダー大賞** 岡山理科大学 4年生対象
ベストリーダー新人賞 // 学部新入生対象

■分 野／●理工系分野（分類400～599）
●人文・社会科学分野（分類000～399、600～899）
●文学分野（分類900～999）



2008年度ベストリーダー賞受賞者について

2009年1月15日（木）、ベストリーダー賞（ベストリーダー大賞・新人賞）の表彰式を行いました。2008年度の大賞・新人賞の各部門1位受賞者は、次の方々です。

ベストリーダー大賞

◆ 理工系分野	電子工学科	廣畑 圭一さん	（1109冊）
◆ 人文・社会科学分野	コンピュータシミュレーション学科	細木 和宏さん	（ 121冊）
◆ 文学分野	化学科	和田 泰輝さん	（ 518冊）

ベストリーダー新人賞

◆ 理工系分野	生物化学科	住吉 優子さん	（164冊）
◆ 人文・社会科学分野	応用数学科	鍵谷 鷹仁さん	（ 62冊）
◆ 文学分野	知能機械工学科	森本早斗志さん	（239冊）

受賞の鍵は、継続的な図書館の利用です。

ぜひ、4年間を通して図書館を使ってください！！

詳細については、岡山理科大学図書館ホームページの「イベント[記録]」に掲載しています。